

初回講習・事前学習ページ（2026年度より）

2026年度より初回講習の運用方針を改定します。安全性・再現性・装置保護の観点から、以下のルールに従ってください。なお、利用状況や装置状態の変化に応じて、今後内容を改訂する場合があります。

1. 基本方針

- ・本ページの内容は2026年度以降の全利用者に適用します。
- ・初回講習はインフュージョン方式のみを扱い、インジェクターは対象外です。

2. 使用できる溶媒とグレード

【許可溶媒】 Methanol (MeOH), Acetonitrile (ACN)

※ H₂O を使用されたい方は別途管理者までお問い合わせください。

【溶媒グレード】 2026年度より LC-MS Grade のみ使用可。以前は HPLC Grade も可でしたが、測定安定性向上と汚染防止のため改定しました。

3. 使用禁止溶媒・物質

【非極性溶媒】 Hexane, Toluene, Dichloromethane, Chloroform

【非プロトン性溶媒】 Ethyl acetate, Acetone, THF

【その他】 DMSO, DMF, IPA, PBS/Tris/HEPES, SDS/Triton/Tween, PEG/PVP, TBA/TEA

4. 溶媒の取り扱い

- ・LC-MS Grade 溶媒を洗瓶（スクイズボトル）に入れて使用することは禁止です。
- ・理由：外気由来の水分・塵埃・可塑剤などの混入により汚染が発生し、ESI ノズルや検出器への重大な汚染源となるため。
- ・溶媒は必ず密閉できるスクリュー管またはガラス小瓶で管理し、当日使用分のみを分注して利用してください。

5. サンプル濃度（Infusion のみ）

- ・1 ppm 以下（例外はスタッフ管理下で 3 ppm、上限 5 ppm）

6. 精密質量測定について

精密質量測定で使用する標準試料（ギ酸ナトリウム、TFA ナトリウム等）は、装置汚染や洗浄負荷が大きいいため、初回は管理者の確認のもとで測定を行ってください。管理者から許可された利用者のみ、自主測定を可能とします。

7. 洗浄について

MeOH および ACN（試料由来のピークが無くなるまで、それぞれ最大 5 分）

※ 全工程で LC-MS Grade を使用してください。

8. 廃液の取り扱い

- ・ 廃液は各研究室へ持ち帰って処理してください。

9. 今後の改訂について

・ 利用状況、装置状態、安全管理上の必要性に応じて、本内容は今後改訂される可能性があります。最新情報は HP をご確認ください。

10. 連絡先

ご質問があれば質量分析室までお問い合わせください。